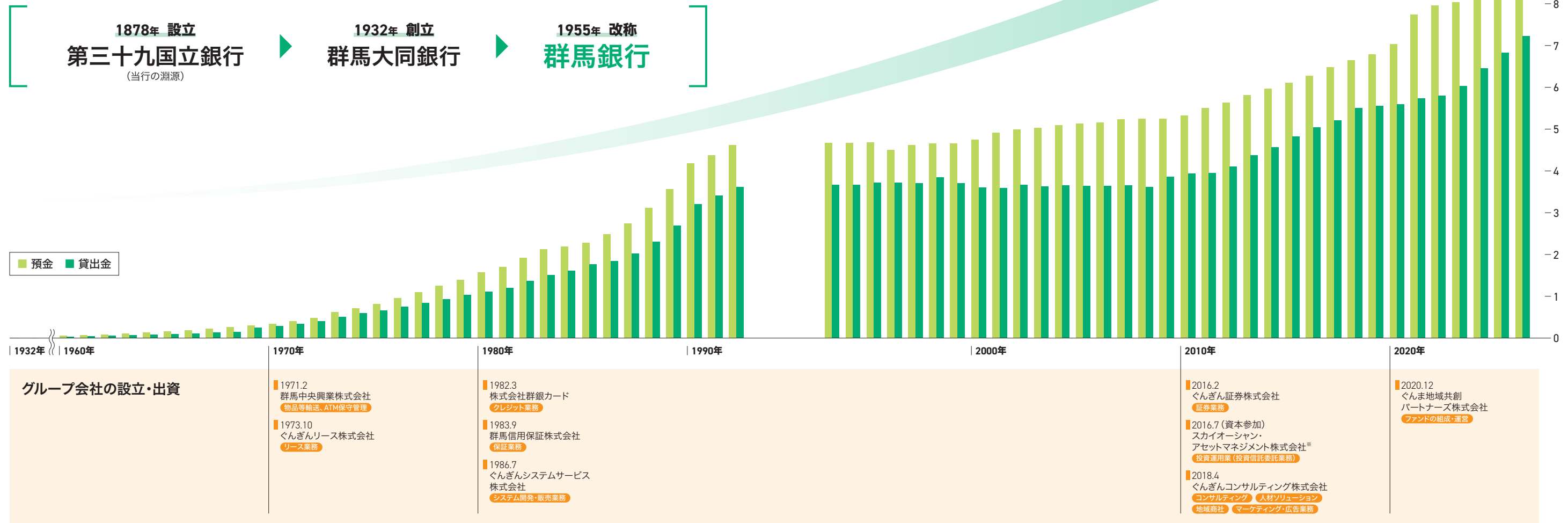


群馬銀行グループのあゆみ

群馬銀行の源流は、1878年（明治11年）の「**第三十九国立銀行**」の設立まで遡ります。第三十九国立銀行は、1898年（明治31年）に三十九銀行となるなど、形態や名称を変えながら、群馬県内最大の銀行として、繊維産業を中心とする県内企業への資金供給を行っていました。昭和初期、県内の銀行は、前橋の群馬銀行（第2次）、高崎の上州銀行、渋川の上毛銀行を中心とした3つの銀行圏に分かれていました。国が金融機能の安定化を目的に1県1行主義を打ち出すなか、

1932年（昭和7年）に群馬県は自ら出資し、群馬県金融株式会社を設立、同社が群馬銀行（第2次）・上州銀行と合併し、名称を「**群馬大同銀行**」としました。なお、当行はこの合併を決定した株主総会の開催日（11月20日）を当行の創立記念日としています。群馬大同銀行は、戦中・戦後の混乱期を乗り越え、1955年（昭和30年）に行名を「**群馬銀行**」に改称しました。



※ 2027年3月末を目途に業務終了予定

■ 主な出来事

創立～

1932年 群馬大同銀行創立
1955年 株式会社群馬銀行に商号変更



創立当時の
群馬大同銀行本店

1960年代～

1969年 東京証券取引所に株式を上場
1972年 現本店竣工



竣工時の現本店

1980年代～

1983年 群馬経済研究所設立
1992年 企業理念制定
シンボルマーク制定
1995年 群馬銀行環境財団設立
(現ぐんぎん財団)



群馬銀行
制定時のシンボルマーク

2000年代～

2009年 「群馬銀行環境方針」制定
2019年 「群馬銀行グループSDGs宣言」制定



2020年代～

2020年 地銀10行による広域連携
「TSUBASAアライアンス」参加
2021年 群馬銀行グループ「パーパス」制定
第四北越銀行との連携協定
「群馬・第四北越アライアンス」締結
2022年 足利銀行との連携協定
「りょうもう地域活性化
パートナーシップ」締結
2025年 群馬銀行グループ
「サステナビリティ方針」制定
第四北越フィナンシャルグループとの
経営統合に向けた基本合意書締結



パーパス公表の
記者会見にて

2026年 第四北越フィナンシャルグループとの経営統合契約書の締結



左：群馬銀行 深井彰彦頭取
右：第四北越FG 殖楽道郎社長

2027年 新金融グループ「群馬新潟フィナンシャルグループ」誕生

